

淀川区教育行政連絡会「小学校の部」議事要旨

日 時 平成 30 年 6 月 7 日 (木) 10:30~12:00

場 所 淀川区役所 6 階 601 会議室

出席者 学校長：新東三国 東三国 北中島 宮原 西三国 三国 新高 木川
木川南 十三 野中 神津 塚本 田川 三津屋 加島
区役所：区長 副区長 教育支援担当課長 課長代理 係長 係員
傍 聴：0 人

資料 1 H29 運営に関する計画 区から依頼した取り組みの反映状況と評価結果
【小学校】

資料 2 H30 運営に関する計画 区から依頼した取り組みの反映状況【小学校】

資料 3 事業案についてのアイデア出し・学校長自由意見のまとめ

資料 4 淀川区役所 教育支援担当 平成 30 年度事業予定一覧

資料 5 子ども見守り放送に関して区に寄せられたご意見

資料 6 平成 29 年度第 3 回淀川区教育行政連絡会で出た意見の送付

【次第】

司会：教育支援担当課長

◎区長あいさつ

◎議題

《1 平成 29 年度 各校の運営に関する計画（区依頼事項の振り返り）》【公開】

《2 平成 30 年度 睡眠習慣改善に向けた各校の取り組みについて》【公開】

《3 次年度事業に向けたブレインストーミング》【公開】

《4 学校安心ルールの本格運用について》【公開】

《5 教職員の負担軽減に向けた取り組みについて》【公開】

《6 分権型教育行政にかかる情報提供》【公開】

《7 その他》【公開】

・説明：区長、教育支援担当

・各議題について意見交換

議題1 平成29年度 各校の運営に関する計画（区依頼事項の振り返り）

（区より説明）

- ・昨年度も区から各学校の運営に関する計画の中で、睡眠習慣改善にかかる取り組み（ヨドネル）を盛り込むようお願いしていた。区から依頼させていただいた昨年度の取り組みを振り返り、各校を代表して三国小学校からご説明をお願いしたい。

（三国小学校より説明）

- 「生活点検調査」として各学期に1週間、点検週間を設けて調査を行っている。本校では睡眠だけでなく食育についても啓発活動を行っている。朝ご飯を食べているか、バランスの良い食事をとっているかについてもあわせて調査し、結果を児童の保健委員会を通して子どもたちに伝えている。
- 就寝時間を1・2年生は9時、3・4年生は9時半、5・6年生は10時と決め、それを守れた子どもたちが多い学級を表彰することで、子どもたちにとって非常に励みとなっているようだ。

議題2 平成30年度 睡眠習慣改善に向けた各校の取り組みについて

（区より説明）

- ・淀川区では今年度もヨドネルの取り組み（睡眠習慣改善にかかる取り組み）を継続的に行っている。各学校にも引き続き目標に掲げていただきおり、感謝申しあげる。この取り組みについて区への要望や、各学校間の情報共有という観点でご意見があれば伺いたい。

（意見交換）

- 昨年度まで大阪市立大学の水野先生を中心に睡眠に関する大規模調査を区で行っていただき、非常にありがとうございました。今年は講演会を中心に啓発を進めると聞いていますが、来年度以降の取り組みの青写真があれば早く知りたい。

⇒区より

来年度も講演会という形で啓発を中心に取り組みを行っていく予定である。事業に対するご要望、新たな展開が必要であればご教示いただきたい。

議題3 次年度事業に向けたブレインストーミング

（1）平成31年度事業についてのアイデア出し

（区より説明）

- ・淀川区の教育支援策のほとんどは、校長先生からご要望をいただき事業化したものである。次年度に向けて事前にいただいた事業案に基づき、議論していただきたい。

（意見交換）

【学力向上に向けた取り組み】

- 来年は小学校でも漢字検定の受検について区でお願いしたい。現在は保護者負担で、希望者を募り受検している。
- 前任校で春季休業中の宿題を作って配付し、自学自習の力をつけさせた。また、進学先中学校の定期テストの時期に合わせて通常の1.5～2倍を目安に宿題を増やす取り組みは、中学校に入学しても勉強の習慣がついていると保護者に非常に好評だった。

- 前任校で職員朝会を週1回にし、毎朝の朝学習を充実させていた。
- 効果検証はできなかったが、前任校で朝、休み時間、昼休み、給食、掃除の時間、放課後とずっと英語の音楽を流すことで、聴く力を育てる取り組みを行った。

【学習支援】

- もし小学校でヨドジュークを実施するなら、外から入りやすく、管理しやすい部屋があるので、ぜひ提供させていただく。
- 各界の有識者を呼んできて学習へのモチベーションを高めるための放課後学習会「ドリームルーム」について、昨年度は枠組みがないとされたが、次年度はその講師料について区でご検討いただきたい。
- 家庭学習について、放課後学習やいきいきで宿題はやるが、それ以外はあまりやっていないのが現状。そこに何かできないか。
- 家庭学習は本校でもテーマに挙げているが、家庭にいる時間がそもそも少ない子たちが多い。授業外の復習も含めていきいき、学童と、時間を上手に使う子の方が、意味があるのではないかと思う。子どもが家庭で過ごせる時間をどう増やすか、大人目線で振り返るべきではないか。
⇒区より
平日の家庭学習もそうだが、土日の家庭学習を全くしていない子が全国で10%程度だが、大阪市淀川区では20%を超えるような数字になっているので、今おっしゃっていただいた時間の使い方も課題にあがってきている。

【安全・防犯対策】

- 校内の防犯対策として、防犯カメラを設置したい。校門には設置しているが、校門からはどこに向かったかわからず、不安がある。

【入学サポート】

- 小学校入学サポートプログラムについて、入学前の保護者が地域であまりつながっていない方も多い中で、こうした保護者の不安を解消する目的で、区全体で導入を検討していただきたい。

【基本的生活習慣の課題へのアプローチ】

- ヨドネルに変わる取り組みが何かあれば、示していただけるとありがたい。
- ヨドネルも大きな取り組みで効果があると思うし、そこから各学校でいろいろな方向に取り組みがでできている。淀川区として小学校で課題になっているものを見据え、その柱になる取り組みを次のテーマとして、解決のために動いていかないといけないと考えている。
- ヨドネルは家庭のことなので一つの学校だけはなかなか効果が上がらないものだが、区でやったからこそ効果が上がったと思う。
- 家庭での喫食状況を調査すると、子どもが置かれている状況や、今後子どもたちがどのような成長をたどっていくのかがわかるので、そちらの方にも同じように予算を使っていただけるとありがたい。

【教職員の負担軽減に向けた取り組み】

- 教師の業務は煩雑化してきている。教師業務アシスタントを雇用し、印刷や行事の準備、例えば運動会の飾り付けを作るなどの誰にでもできる作業を任せれば、教師にも時間の余裕ができ、授業の準備

の時間が確保できることからよい授業を行え、子どもの学力向上につながると思う。文科省の出している教員の働き方改革の一つの案として出ていたのではないかと思う。

【人材バンク】

○出前授業に来て講師をしてもらえるような人を紹介してくれるシステム「人材バンク」のようなものを区で作っていただきたい。

⇒区より

生涯学習推進員の経験や区と協定を結んで連携している協会などにご助力いただくことは可能かもしれない、区からも働きかけていきたい。

【発達障がいサポート】

○もう少し発達障がいサポートの枠を増やしてほしい。

○乳児期から成長段階に応じてトータルに子どもを把握し、保護者を育てるシステムを区全体で考えていただければ、学校現場はもっと楽になるはずだ。財源ということではなく、システムに関するお願ひだ。

⇒区より

大阪市全体で「ネウボラ」と言って、保健師が母子手帳を出された時から同じ担当者が一貫してサポートし、成長段階に応じていろいろな相談を受けられる体制をつくろうと、今取り組み始めていところだ。ご提起いただいた方向になんとかもっていければよいと思う。

【スクールカウンセラー】

○スクールカウンセラーについて、職員も安心だし、保護者向けにも取り組んでいることを大いに宣伝できて、非常にありがたい。

○今年度より増員されており、学校の方でも工夫して活用しているので現状でよい。

(2) 運動が苦手な子どもへの体力向上の取り組みについて

(区より説明)

・区PTA特別委員会と区長との意見交換の場で、運動が苦手な子と上手な子に二極化しており、苦手な子にいかに運動を好きになってもらうかが課題、遊びの中で体力を向上させる取り組みを区で考えてほしいとの要望があった。先生方からよいアイデアがあればご教示いただきたい。

(意見交換)

○運動する上で空間、仲間、時間が大事だ。この3点をしっかりと確保しながら苦手な子への対策を行つており、段々できることを体験させて運動が楽しいと感じさせるように取り組んでいる。

○「運動」や「スポーツ」と名前がつくと、嫌いな子はそこで拒否反応を起こすところがある。運動嫌いだからでなく、いろいろな遊びのパターンを紹介すれば、面白うだとやっているうちに休み時間が楽しみで仕方なくて運動場に飛び出していくようになると思う。

(3) 区事業PRの取り組みについて

(区より説明)

- ・区政会議の委員から、区の事業のメニューについて地域や保護者になかなか伝わっていないとのご意見があった。PRするのに何かよいアイデアがあればご教示いただきたい。

議題4 学校安心ルールの本格運用について

(区より説明)

- ・「学校安心ルール」が本格運用となったが、各校で困っていることや変化が見られる点があれば、ご意見をいただきたい。
- ・区PTAとの意見交換の場で、他の学校のルールも見てみたいという意見があった。ホームページへの掲載もご検討いただけたらありがたい。

(意見交換)

- 当初はないと思っていたが、ルールを盾にとり、子どものけがに端を発して学校からきちんと罰を与えるべきだと言われる事案が発生した。その際、学校側からはルールの趣旨について、罰を与えることよりも子どもたち自身が規範意識をもつために設定されたものであると説明、保護者とも話し合いを重ねた結果、ルールの適用外との結論になった。

議題5 教職員の負担軽減に向けた取り組みについて

(区より説明)

- ・自動音声ガイダンスが導入されたが、学校の方で何か変化があれば情報共有をお願いしたい。

(意見交換)

- セットする時間とセットを解除する時間に拘束され、結果、教頭の仕事が増えた。
- プログラム自体をさわらないと自動的にセットされないため、負担軽減に全くなっていない。またプログラム変更のためには学校で調べたところ 15,000 円～20,000 円の費用が必要。大阪市として本気で取り組むなら、そこまできちんとフォローして導入していかないと、現場としては困る。
⇒区より
　いただいたご意見はきちんと教育委員会や区長会にあげていく。

- 今のところ1件もトラブルはない。

- 以前よりも午後6時以降や朝8時前の電話は減っており、電話をかけてもつながらないという意識が保護者にもできてきたように思う。

- 教員は給食の時間もノートの丸付けをしていて、給食もゆっくり食べていない。職員室に降りてきたり、子どもの情報交換をしたり、欠席児童の自宅に電話をしたり、全く休憩時間がない。

- どこの学校でもほとんどの教員が教材研究の半分位は土日、家でやっているのではないか。そういう現実を考えていただいてはじめて根本的に変わるとと思う。それができなければ、教頭の方の負担軽減は無理だと思う。

- 結局は6時以降も働いている。過重労働になる根本的理由は、少なくとも夕方5時頃まで授業、指導、会議と拘束され、空き時間が全くないという教員の特殊性があるからであって、これを理解していただかない限り、小手先だけの改革しかできない。

- 中学校から来た立場で言うと、小学校は中学校に比べて数倍忙しいような気がする。忙しさゆえに十分な授業案も練れないまま授業を行わざるを得ない状況で、果たして子どもにとって魅力ある授業と

なっているのかと感じる。やはり増員しか解決の道はないのかと思う。

○教頭候補を育てていくことは大事なことだが、忙しくしている教頭をみんなが見ているだけに、なり手がなく、悪循環だ。

⇒区より

去年、教頭先生のヒアリングをさせていただいた時に、まさに同じことをおしゃっていた。我々の姿を見ているから、誰も教頭になろうとしないということだった。区からは教育委員会の方にあげている。すでにお聞き及びかもしないが、第三者の目で状況把握しないといけないという話が出ていて、淀川区には入っていないらしいが、コンサル会社が入って状況把握することだ。

○中学校には中学校特有の部活動の課題があり、平日の放課後や土日の大会などで拘束され、それはそれでしんどいと思う。一方、小学校は短期に集中するしんどさがある。どちらがしんどいと単純に比較できないのではないか。

○小中学校の両方の教頭を経験した立場から言うと、ルーティンの過密さでは絶対に小学校の方がしんどい。しかし、中学校には生活指導があり、空き時間を使って子どもたちを指導しなければならないので、その精神的な追い詰められ方は小学校よりもはるかに上で、質的な違いがある。

○平成32年度からスタートする英語教育に対する何らかの策がほしい。これから考えるべきなのは、英語で1枠増えることだ。今後30時間を使って4年生に教えることになる。30時間がくる時までに、書写の時間は非常勤講師を雇えるようにするとか、音楽についても専科制としてもらえると随分助かるということではなく、専門性が高い先生が教えた方が子どもも一生得をする。そういう枠をなんとかできないものか。校長経営戦略支援予算で非常勤講師を雇えるような枠もあるが、通年で相当の金額になるので、英語が増えるにあたってなんらかの策がほしい

○文部科学省の予算で小中連携の教員の枠がある。大阪市も30年度、その枠で予算をとっていて、前任の学校ではそれをとって小学校で15時間位英語の先生が行っていた。その枠をなんとか広げていけばどうか。それを拡大していただければ、小学校としてはありがたい。

議題6 分権型教育行政にかかる情報提供

(1) 学校協議会委員研修について

(区より説明)

・区PTAより新任者委員の研修に注力されたいとの要望があったので、新任者向けのデータを作る予定。現在データを作成中なので、学校を通じて学校協議会委員に配付していただくようご協力をお願いしたい。

(2) 子ども見守り放送について

(区より説明)

・子ども見守り放送について毎回情報提供させていただいている。放送内容を変えた直後は苦情もあったが、ここ1か月位は聞いていない。一方で賛成の声もあり、区役所としては継続していきたい。学校からご意見があればいただきたい。

(意見交換)

○平成28年4月の児童の連れまわし、連れ込み被害を受けて校長会から要望したのが子ども見守り放送だ。最近の新潟県や岡山県津山市の児童にまつわる事件を考えると、区のレベルでやっていただくべ

き課題だと認識する。むしろ大阪市に先駆け、淀川区として子どもの安全を守るための放送だと規定づけていただきたいので、再提案という形でぜひご検討いただきたい。

（3）校長経営戦略支援予算について

（区より説明）

- ・小中学校の両方で校長経営戦略支援予算に関するご意見を教育行政連絡会でいただいているので、教育委員会教育政策課や区長会のこども・教育部会に課題として投げている。

（4）小学生補習充実事業の取り組みについて

（区より説明）

- ・区政会議委員から小学生補習充実事業についてできるだけ幅広く取り入れてほしいというご意見があった。今年度は10校を区の方で目標にしており、10校でスタートさせることができたので、ご協力に感謝申しあげる。

議題7 その他

（区より説明）

- ・大阪市通学路交通安全プログラムの推進について、各区の区役所の方でとりまとめをしていくことが決まったので、今後ご協力のお願いをすることになる。
- ・大阪エヴェッサのバスケットボールチームから応援デーというイベント企画の案内が区にきている。淀川区としてはエスコートキッズ、選手と一緒に入場し記念写真を撮るというイベントを実施しようと回答予定だ。6月27日までに各学校からご希望があれば、区として申込させていただくので、ご連絡いただきたい。